

## 学習院大学研究データポリシー

2024 年 12 月 9 日

学習院大学(以下、「本学」という。)は、学習院学則総記および本学学則に基づき、精深な学術の理論と応用とを研究教授し、高潔な人格、確乎とした識見および健全で豊かな思想感情を有する、文化の創造発展と人類の福祉に貢献する人材を育成することを目的としている。

このため本学は、研究活動によって得られた成果を蓄積し、更なる学問研究の発展と社会への還元を進めるにあたり、学問研究の過程で得られる研究データの管理ならびに公開および利活用についての原則を以下のとおり定める。

### (研究データの定義)

1. 本ポリシーが対象とする研究データとは、本学における研究活動の過程で研究者によって収集または生成されたデータ等を指し、デジタルか否かを問わない。

### (研究データの管理等)

2. 研究データの管理ならびに公開および利活用に供する方法は、それを収集または生成した研究者が、法令、本学の規程その他これに準ずるものの範囲内ならびに他の者の権利および法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

### (研究データの公開等)

3. 研究者は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

### (大学の役割)

4. 本学は、研究者による研究データの管理ならびに公開および利活用を支援するための環境整備を推進する。

### (ポリシーの見直し)

5. 社会や学術環境の変化に応じて、適宜本ポリシーの見直しを行うものとする。